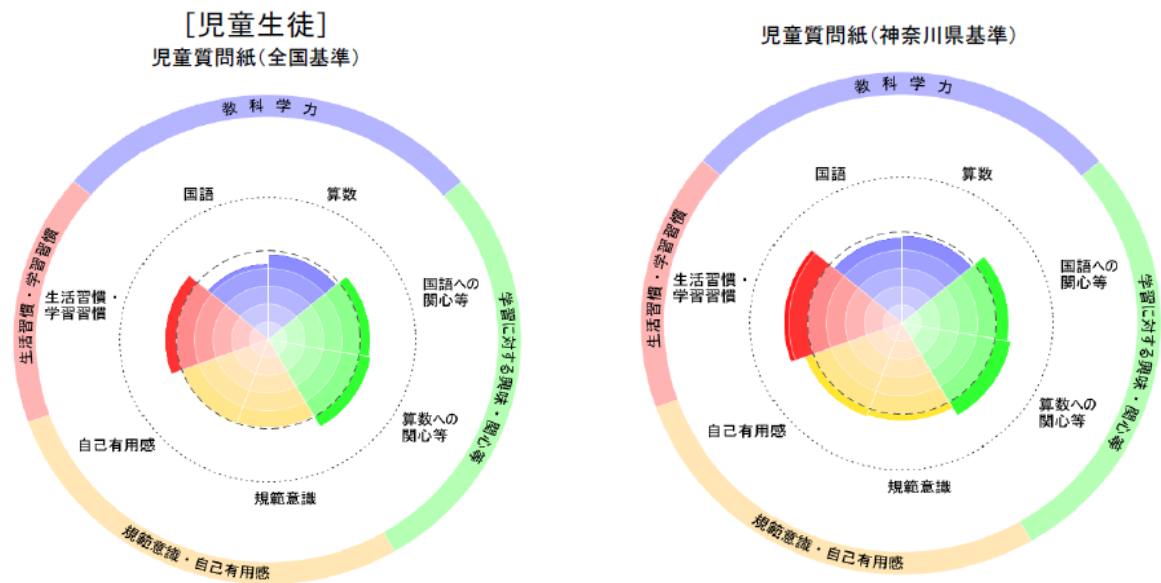


## 令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果のお知らせ

今年度の全国学力・学習状況調査は全公立小学校が実施の対象で、本校でも第6学年を対象に国語・算数の2教科を4月に実施しました。全国・神奈川県の結果が発表され、本校の結果もまとまりましたので報告させていただきます。なお、6年生児童への個人結果の返却は前期末に行います。

今年度の傾向として、教科への関心は国・県を上回り、意欲的に授業に取り組もうとしていることが分かります。また、全国（左グラフ）・神奈川県（右グラフ）と比べ、良い生活習慣や良い学習習慣が身に付いている児童が多いことが分かります。学習習慣や関心意欲を学習と結び付けてさらに高める指導をしていきたいと思います。

一方で学力は、国や県の平均よりやや低い傾向が見られます。特に、目的に沿って問題文や資料を正しく読み取ったり、解釈したり分析したりする力に課題があると考えられます。自分で課題を見つけたら、自ら解決しようとする習慣が定着するよう指導を行っていききたいと思います。



○よい状況と考えられる内容

●指導改善が必要と思われる内容

### (1) 国語の状況

#### ○読む能力

特に、目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかく。

#### ●話す・聞く能力、書く能力、言語についての知識・理解・技能

特に、目的に応じて質問を工夫したり、話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる。

### (2) 算数の状況

#### ○数量関係

特に、資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述する。

#### ●数学的な考え方

特に、示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算する。